

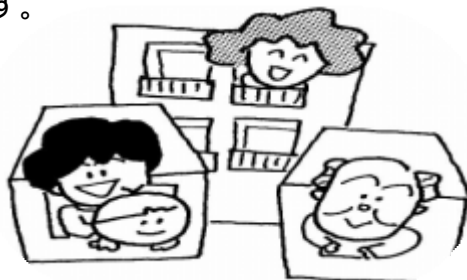
滝沢おさむ ホットメール

今年も皆さんと一緒に頑張ります

「景気に回復の兆し」と言われますが、庶民にはまだまだ見えてきません。今年も増税や憲法問題など様々な問題をかかえる年となりそうです。そんな中でも心に余裕をもって、楽しい時にはおおいに笑いたいと思います。

笑うことは、表情を豊かにして心にも体にも良いと言われます。皆さんと一緒に暮らしやすい、笑いのこぼれる街づくりを目指します。

18年度から第4次総合振興計画が実施されます、御意見やご要望をお寄せください。



「アスベスト対策」県や国で補助制度創設へ

飯能市保有の159施設のうちアスベストの含有が疑われた25施設75ヶ所から採取された検体を分析していましたが、富士見団地や第一小学校給食調理室など7施設14ヶ所から基準を超えるアスベストが検出され、12月議会補正予算でアスベストの除去工事費が予算化されました。私は12月議会で、民間の幼稚園や保育所、私立学校、病院、老人施設などのアスベスト問題を取上げ、検体検査や除去工事が必要になった場合の補助制度の創設について求めました。現在市独自の補助制度は創設されていませんが、国は補正予算で「公営住宅、不特定多数



が使用する公共施設、ホールや民間施設でも社会福祉施設は補助をする。民間住宅についても地域住宅交付金制度の中で補助を検討する」など対策に踏み出しました。また埼玉県でも「彩の国環境創造資金」による融資や民間金融機関への低利融資制度の創設の要請を始めました。

区画整理問題について

今回、区画整理検討委員会の報告に基づき、今後の新たな整備方針が示されました。事業が遅々として進まない中、また計画の見えない状況のもとで、私は皆様から寄せられました御意見や御要望を基に、住民の立場から毎回一般質問で取上げてまいりました。今回も固定資産税や下水道、新光地区の整備方針について質問をしました。

地内の土地評価の補正率の拡大は



滝沢 区画整理地内の固定資産税の土地評価は、事業が長期化し土地利用が制限をされることから、平成12年度より土地の使用収益が開始されるまで課税評価額に対して-3%の補正を行っていますが、現状ではほとんど影響は出ていません。この間固定資産税は、地価が下落傾向にあるにも係わらず税負担は減らず、都市計画税も課税され一般的にも重税感がありますが、さらに区画整理地内では土地利用の制限を受けています。事業が長期化する中で地権者に影響の出るようになり、-10、-20%の補正を行い住民の税負担を軽減すべきではないでしょうか。

市民生活部清水参事 区画整理の土地評価については、景気の低迷や土地の有効利用が出来ないことを踏まえて、補正を行ってきましたが、税収の落ち込みや膨大な事業を抱えていますので、補正枠の拡大について現在は考えていません。



岩沢南部・大山街道



下水道整備は大胆な見直しを

滝沢 今回下水道整備について新方針が何点か出され、現道と区画道路が重複し流末が確保できるような場所は整備を進めて行く事になりました。該当する場所は早々に整備を進める事が必要ですが、場所が限定されてしまいます。事業の目途が立たない中では現道と重複しなくても下水道整備を進めていく事が必要ではないでしょうか。

建設部双木参事 下水道については、従来は区画道路の進捗に合わせて敷設してきましたが、今回の見直しを受け具体的に勾配や流末等の調査を行い設計を進めていきたいと考えています。また現道と重複しない道路についてですが、現段階では今回の整備方針で進めていきたいと考えています。

滝沢 また地内では下水道整備が進まないの、立替えやリフォームの時、やむなく合併処理浄化槽を設置する家庭もありますが、区画整理地内は下水道の認可地域となっているので一切補助金が出ません。長年にわたり都市計画税を納めているのに、全て自己負担ではやり切れない思いがします。市独自の補助金は創設できないでしょうか。

双木参事 市の財政状況もありまして現時点では考えていません。

新光地区の区画整理について



滝沢 新光地区は下水道が直近の産業道路まで整備がされているにも係わらず、進捗が思わしくなく、住民の方から「全く先が見えない、下水道では大変苦勞をしているのに今後どうなるのか」との声を聞きます。この地域は現道を生かして整備を進めることとなっていますが、区画整理以外の方法で住環境整備を行う事は出来ないのでしょうか。今後の整備方針について御伺いいたします。



双木参事 新光地区の仮換地は、ごく一部でほとんど進展していない状況です。この地域は現道を生かした換地設計となっていますので、対象戸数が約140戸で移転戸数は50戸ですが、引き続き区画整理を進めて行きたいと考えています。

今回の区画整理事業の見直しにより阿須小久保線については、一定度具体的な方針が示されました。しかし住民要望の多い下水道や狭隘道路の整備については、具体的なプランが示されていません。飯能市の区画整理は県内でも類を見ない規模の事業となっています。このままでは住環境整備はいつになっても整いません、抜本的な整備方針の見直しが必要です。引き続き議会で取上げてまいります。

市民負担の軽減を

公団の開発責任を追求しました

今まで飯能市は開発優先の市政を進めて来ましたが、公団の開発には私たちの試算で200億円も市の税金をつぎ込んでいます。美杉台中学校は平成13年4月に開校しました。西川材の使用など様々な配慮がされ、中学校生活を送るのにふさわしい校舎になっています。建設費は総額51億8千万円、その内45億3千万円は当事の公団が一時的に立替えて施行をしました。返済は平成13年から始まり、今後平成37年まで、毎年1億7千万円余りを市が返済する事になっています。



美杉台中学校

本来開発に伴う公共施設は開発主体が建設を行うべきですが、開発優先の国策で市は当事公団と立替施工の協定を結びました。しかし人口12万人を目指した都市づくりは失敗し、美杉台の人口はいまだに6・7割程度に留まり、大河原開発は既に破綻をしています。このような開発の負担は市民に強いるのではなく、開発の責任はしっかりと追求し、今後残っている32億3千万円の返済等は、免除をするように都市再生機構と充分交渉をするよう求めました。

飯能市川崎地区に隣接する産廃処理施設について

久邇カントリー北側の日高市上鹿山地区に、産業廃棄物処理施設の建設が予定されています。開発面積が約1ヘクタールに及ぶこの施設は、食品残渣や木屑、紙や繊維屑などを飼料や堆肥化する施設です。しかし土壌や水質の汚染と共に悪臭の発生が懸念される事から、東急高麗川団地の住民から建設反対の声があがり、区長名で建設反対の陳情署名も日高市に提出されています。飯能市に隣接する場所で直線距離では精明小学校まで2km程しかありません。飯能市の対応を質した所、8月に県知事から建設計画書に係る意見が求められ、飯能市としては、付近に福祉施設やゴルフ場がある事、また堆肥化や飼料化する施設が設置されると、製造過程や保管過程で悪臭発生や地下汚染が懸念されるとして、県知事に対して反対の旨の意見を提出したとの事です。また12月20日に開かれた日高市議会では「産業廃棄物処理施設の申請を許可しないよう求める意見書」が採択され県知事に提出されています。



新年あけまして おめでとうございます

昨年はアスベストや耐震偽装問題、子供達が犠牲になる痛ましい事件などが相次ぎました。多くの方々が地域や社会・政治のあり方に不安や疑問を持たれたのではないのでしょうか。効率と利潤優先の政治では、「勝ち組み・負け組み」を生み出し、社会もすさぶばかりです。命と暮らしを何よりも大事にする政治に転換し、希望がもてる社会をつくるため、また「憲法9条」を守り抜くため全力で頑張ります。

参議院埼玉選挙区
予定候補

あやべ澄子



市民何でも相談会 2月19日(日)

10時～午後3時まで
場所1丁目クラブ
(消防稲荷分署南側)
リストラ、サラ金、不払い・国保税の滞納など
弁護士、税理士、社会
保険労務士や市議会議員が相談に応じます。

相談は無料です。

皆さんと一緒に考え、一緒に行動して、住みよい飯能を目指して頑張ります。御意見、御要望をお寄せください、お待ちしております。

日本共産党市議会議員

滝沢 修

連絡先

飯能市岩沢1146-1

TEL・FAX (972) 3875

E-mail takizawa@hanno.jp

2006年1月発行